

えひめの歴史文化モノ語り

県歴博収蔵資料から ⑩

今年寅(とら)年。そにどの様な関係があるの
 こで今回は「千人針」を紹介 だろうか。

介する。寅(虎)と千人針 千人針は日露戦争の頃に

広まった弾除(たまよ)けと模様である。本資料では
 のお守りである。「千」に シャツの背中側に日の丸模
 は「大勢」や「たくさん」 様の千人針が施されてい
 という意味がある。通常は 日丸は大きくても小
 1寸ほどの横長の白布に、 女性が赤い糸で1人1つ玉
 結びを作る。女性は愛する 男性に千人針を贈って戦場
 での無事を祈り、兵士とな 御朱印が押されている。

戦場での無事祈り込め

った男性は贈られた千人針
 を腹に巻いて戦った。

願いが込められているのだ。
 戦時下の資料は平和の大

切さを伝えるとともに、平
 和とは何かということを問
 いかけている。近年の新型
 コロナウイルス騒動を振り
 返れば、健康も平和な暮らしに
 欠かせないことを痛感
 させられる。今年寅年だ
 が、60年サイクルの千十
 二支だど、「寅寅(みずのえ
 とら)」にあたる。それには
 厳しい冬を乗り越え、新しい
 成長の礎になるという意味
 があるという。今年が穏やか
 で平和な一年になるとも
 に、次の成長に向けたステッ
 プとなることを願いたい。
 では、本資料に注目して
 みよう。第1の特徴は下地
 (専門学芸員・平井誠)
 〈随時掲載します〉

千人針のシャツ



⑥日の丸模様が施された千人針のシャツ
 ⑦千人針のシャツに結ばれた5銭と10銭

